

生涯学習・社会教育関係職員研修講座【下北地区研修】

令和7年6月25日(水)13:30~16:00 下北文化会館 受講者10名

1 内容

【テーマ】「もったいないから未来をつくる」

【講師】一般社団法人もったいない研究所

代表理事 おか 岡 うたこ 詩子 氏



【経歴】

鶴田町出身。2011年に青森にUターンし、「もったいなくないものづくり」を目指し、無縫製のリネンストールを中心に、縫い目の見えない完全手縫いのリネン製品を製作する『ハンサムリネン KOMO (コモ)』を、2021年には、鶴田町が好きな仲間が集まり、自分たちがもっと楽しく鶴田町で暮らす為にやりたいことを企画実行する団体、『つるた街プロジェクト』を設立。現在は、もったいない研究所で廃校を利活用し、地域貢献に尽力している。

【講義要旨】

- 「人が集まり、長く滞在する」ことで新たな人と人のつながりが生まれ、その交流を通して利用者は地域の一員としての参加意識や貢献を実感できます。
- 関係人口の増加は住民の新たな選択肢を広げ、過ごしやすい環境を形成します。滞在時間の延長に伴い消費・生産が増え、地域経済が活性化することに繋がります。
- OTSURUTALABOが、人・もの・コトの情報を集め、適切にマッチングを行うことで利用者満足度が向上し、地域活性化を支援できると考えています。
- 鶴田町の「もったいない」資源を活かす仕組みを作ることで、人が集まりやすい場所を作り、地域の活力をいけます。
- 「やりたいを応援」「モノ・人・情報を集める」「個々の課題を知る」の3つの機能を整え、好循環を生み出すことで「もったいない」を活かし、人を集め地域を元気にします。
- 鶴田町の未来を実現するには、「社会からの信頼」と民間の「自由で柔軟な動き」の両方が必要です。資源を取りこぼさずすべて活用する新しい価値を創り、時間をかけて唯一無二の特色ある町を目指します。

2 受講者の感想

- ・講義に参加し、岡さんの話がとても興味深く、多くのアイデアを得ることができました。とても参考になる内容が多かったため、今後の活動に活かしていきたいと思います。
- ・町を活性化させるヒントや具体的な取り組みについてのお話を伺い、下北地域への思いを深めるきっかけとなりました。また、担当者で考えるよい機会になったと思います。
- ・プロジェクトの内容や具体的な取り組みについて深く理解することができました。また、自治体と利用者との連携方法についても大変参考になりました。